

令和3年度

学生によるオレンジリボン運動

姫路福祉保育専門学校 実施報告書



実施主体 保育こども学科 1年生 2年生有志

実施内容 令和3年10月15日 姫路市役所にてオレンジリボン作成
令和3年11月27日 子育てひろばにて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

授業等で児童福祉や児童虐待、社会的養護について学習し、知識を深めた。これから保育士として働いていくうえで、必要な気付きが得られるように学びを深めている。

11月は虐待防止月間であることを踏まえ、どうしてこの活動が始まったのかを学び、一人ひとりにできることは何だろうと意見交換を行った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

10月15日に姫路市役所こども未来局こども育成部こども家庭総合支援室を訪問し、姫路市の虐待についての取り組みについてレクチャーを受け、姫路市の公立施設で11月に着用するオレンジリボンの作成を行った（例年であれば、駅前での啓発活動などに協力していたが、今年度も屋外での啓発活動は難しいとのことで、協力させて頂けることを相談し、オレンジリボンを作成させてもらうこととなった）。保育士として子どもの些細な変化に気づき、園からこども家庭総合支援室に連絡して欲しいと言われたことで、関係機関との連携を取りやすくなることに繋がった。

11月27日には、学内で毎月行っている子育てひろば『ひめちゃんくらぶ』に参加された親子に対して、オレンジリボンとプリントの配布、子どもにはオレンジの紙テープの先に折り紙で作ったメダルを付け、啓発活動を行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

専門学校の講義で学ぶことと、実際に現場で行われていることが結びついて、虐待かもしれない事案に遭遇した場合にどのように対処すべきかをより具体的に考えることができた。学校で虐待について学び、自分たちには何ができるのだろうかと考えて、子どもへの虐待をなくそうとするオレンジリボン活動に参加することで、少しでも啓発へとつながり子どもたちの最善の利益を考慮することに繋がっていくと考える。子育てひろばにおいては、子育て中の保護者に対して、継続して啓発活動を行っていきたい。



【学校名】 <http://www.himefuku.ac.jp>